

令和8年度 浜通り復興リビングラボ企業向け説明会 主な地域課題

	主な地域課題
まちづくり	<p>まちづくり：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク型コンパクトシティの実現、快適な都市空間の提供、持続可能な中山間地域づくり、スマートシティ化の実現。 ・多機能拠点（観光・健康・教育・交流・医療・救護・避難場所）の整備による交流人口の拡大。 ・企業や店舗の誘致、町内への出店・創業等への支援、全世代が暮らしやすい生活環境の充実などによる生活の利便性の向上。 ・中核拠点施設の整備、にぎわいの復活、公園や駅を活かしたまちづくり。 <p>環境/GX：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化の推進、循環型社会の実現により、まちの魅力向上。 <p>観光・文化・スポーツ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・ツーリズムの強化、地域文化の醸成、スポーツの魅力発信による豊かさの創出。
コミュニティ	<p>地域コミュニティの担い手不足・希薄化：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用が確保できないことによる商業関係の閉店が増え、町中の賑わいが減少し、地域コミュニティが希薄化。 ・若者流出抑制、人財還流、UIターン推進の推進、関係人口の創出による担い手の増加。 <p>外国人の受入環境整備：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の壁から市町村内に滞在する外国人が契約手続きに苦慮。 ・外国人住民の増加に伴う行政手続きの利便性、居住・教育環境等の整備。外国人の住みよいまちづくり。 ・外国人の受入体制の構築。居住地選定に必要な情報発信。
住宅	<p>空き家等の利活用：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き地・空き家の利活用促進などによる多様なニーズに応じた住まいの確保（ペット、外国人、家賃相場など）。 ・空き家・空き地が増加しているが、状況把握が困難なため、移住者等のニーズに合わせた紹介が困難。
買い物	<p>商店街と観光拠点の連携：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地を訪れる観光客が、市街地商店街に来ない。
医療・介護	<p>医療環境の充実：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療人材の育成と医師不足解消、救急医療の強化など。

	主な地域課題
子育て ・教育	<p>子育て環境の充実：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり、就労と子育ての両立支援、困難を抱える子ども・家庭の支援。 <p>子育て支援の担い手不足：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園が休日閉園で地縁のない移住者等は預け先がない。子育てにかかわりたい住民とのマッチングのしくみがない。 <p>教育環境の充実：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して習い事ができる環境の欠如。塾等が遠方に立地していることによる親の送迎。 ・学力向上支援、不登校・特別支援への対策強化、教育環境の充実、地域連携による教育の推進。
地域交通	<p>公共交通の利便性の向上：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の移動手段として、より幅広い世代に利用できる交通機関の拡充。福祉面からも必要。 ・利用しやすい公共交通の整備（「必要な人」が「必要なとき」に利用できる交通網） ・公共交通の活性化。交通不便地域の移動手段確保。
防災・防犯	<p>防災・防犯：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助・共助の力向上、公助の力向上、災害に強いまちづくり等 ・居住の分散等により災害時の声掛けや安否確認が困難。 ・民家が少ないため夜道がより暗く感じる。
除草	<p>避難者の土地の除草：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の遠方への避難が継続し、自宅の維持管理（主に草刈り）が困難。 <p>公有地の除草：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の維持管理として除草費用の削減が課題。担い手不足による体制整備。刈草処分方法。 <p>道路等の除草：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の路肩の雑草が交通の支障、景観悪化。防災集団移転元地の維持管理（除草管理）に苦慮。除草に多額の出費が必要。

	主な地域課題
有害鳥獣 ・害虫対策	<p>有害鳥獣の増加：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災以降、イノシシやニホンザルなどの有害鳥獣が増加。生息域も変動。住民の生活圏（住居・農地）に大きな被害。 ・クマによる人身被害の予防に向けた対策。 ・離農や荒廃農地の増加による鳥獣被害の拡大。 <p>害虫による被害：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アオマツムシやカメムシ等の大量発生による歩行時の支障および強い不快感等の被害。
移住・ 交流人口	<p>移住の促進、交流人口の拡大：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者等への各種支援メニューの情報発信の強化。移住相談受入態勢の強化。 ・周遊の利便性向上による交流人口の拡大。
森林管理	<p>高線量下での森林管理：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域の森林において高線量下での制約を受けながらの整備は困難。
産業	<p>産業：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業人財の確保・育成、産業の新陳代謝、稼ぐ力の向上。 <p>産業団地への企業誘致：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の継続、産業団地の整備によるさらなる雇用の確保。 <p>若年層が望む職業（職場）が少ない：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地の誘致企業は製造業が多数で、現代の若年層が望む職業が少ない。大学等進学後の学生のUターンが減少。

	主な地域課題
農業・ 水産業	<p>農家支援・新規就農者の確保：</p> <ul style="list-style-type: none">・営農再開支援、新規担い手の確保・育成、稼げる経営基盤の確立。・ドローン・ロボットなどを活用したスマート農業の実施 <p>農作物のブランド化：</p> <ul style="list-style-type: none">・ブランド化の推進と魅力発信。 <p>農業水利施設の維持管理：</p> <ul style="list-style-type: none">・震災前には行政・土地改良区・水利組合・地元農家が重層的に農業水利施設を維持管理。担い手の急激な減少により、従前の維持管理体制の再生が困難。 <p>水産業の六次産業化：</p> <ul style="list-style-type: none">・新鮮な魚介類を販売や調理提供する店は多いが、加工業者が少なく、六次産業化は進んでいない。 <p>風評払拭：</p> <ul style="list-style-type: none">・風評対策や安全性のPRを推進して、国内や国外の多くの人に魚介類を食してもらいたい。